

『SSH講演会「Muse細胞のもたらす医療イノベーション」』を開催しました

6月29日（水）、東北大学大学院 医学系研究科の出澤真理教授より「Muse細胞のもたらす医療イノベーション」という演題で、本校全生徒対象にご講演いただきました。

「Muse（ミューズ）細胞」は、さまざまな細胞に分化する幹細胞の一種で、誰の体にも存在する自然の細胞です。出澤教授により2007年に発見されるまで、その存在は知られていませんでした。ミューズ細胞は、安全性が高く、どんな疾患にも「点滴するだけ」で治療が実現するなどの特性があり、再生医療への早期の実用化が期待されています。

「私は、生徒に対しても、「失敗」という言葉はなるべく使わないようにしています。「敗れて失う」というのは惨めな響きです。自然現象においては、失敗も成功ありません。すべては現象です。目の前の出来事を、すべて失敗か成功に振り分けていたら、重要な発見を逃してしまいます。」と、おっしゃったのが印象的でした。本校生徒の励みにもなったと思います。

本校生徒にとっては、出澤教授の偉大な発見と最先端の再生医療のお話を聞く貴重な機会となりました。

講演会の様子



3年生は体育館で、直接、
1年生2年生は教室で講演を聴きました。